## 暗号化機能搭載 USB 接続ハードディスク

# HDS-PXVU2 シリーズ

## ユーザーズマニュアル



### 定期的なパターンファイルの更新と<br>ドライブ全体のウイルスチェックを行ってください

本製品は、接続時とデータ保存時に自動的にウイルスチェックを行っています。新しいウイルスを検出できるように、パターンファイルは常に最新の状態にしてください。パターンファイルは、パソコンがインターネットに接続されていれば、自動的に更新されます。できれば一日に一度、パソコンをインターネットに接続してパターンファイルを更新し、定期的にドライブ全体をスキャンしてください。データ保存時のパターンファイルでは検出できなかった新しいウイルスがあった場合、それを検出できる可能性があります。長期間、出荷時状態や、インターネットへの接続を行わない状態で使い続けると、パターンファイルが更新されず、新しいウイルスを検出できない可能性がありますのでご注意ください。

パターンファイルの更新とウイルスチェックの方法は、本書「ドライブ全体のウイルスチェック」(P5) を参照してください。

インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

**注意マーク** ................ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

**次の動作マーク** ........ ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

## 文中の用語表記

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = $1000^3$byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB = $1024^3$byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

# 目次

# 1 使用上の注意

本製品の使用上の注意を説明します。

## 使用上の注意

⚠注意 **以下のことは絶対に行わないでください。行った場合、データが破損する恐れがあります。**

**●仮想メモリーの保存先に本製品を設定すること**

**●本製品にアクセスしているときに以下のことを行うこと**

- **USB ケーブルや電源ケーブルを抜くこと**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にすること**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）に移行すること**
- **ログオフ、ログオン、ユーザー切り替えをすること**

● お使いのパソコンによっては、パソコンの省電力モードから復帰した場合に遅延書き込みエラーが表示されることがあります。その場合は、パソコンを省電力モードにする前に、本製品を取り外してください。

● パスワードを忘れてしまうと本製品に記録されたデータを取り出せなくなりますので、決して忘れないようにしてください。

● パスワードは厳重に管理し、他人に知られないようにしてください。

● 本製品を初めて接続した場合、本製品のパワー・アクセスランプが点灯するまでに 20 秒程度かかることがあります。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため､1 ファイルの最大容量が 4GB となります。NTFS 形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

● お使いのパソコンによっては、本製品を接続したままパソコンを起動すると、Windows が起動しないことがあります。この場合は、Windows の起動後に本製品を接続してください。また、本製品を接続したままパソコンの電源を ON/OFF する場合は、パソコンのマニュアルを参照して、BIOS のブート設定を内蔵ハードディスクから起動する順序に変更してください。

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【マニュアル「 はじめにお読みください 」】

⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（パワー・アクセスランプが点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**

次のページへ続く

● 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品から OS を起動することはできません。

● 本製品に物を立てかけないでください。
故障の原因となる恐れがあります。

● 本製品を USB1.1 準拠の USB コネクターに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● 本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。

● 本製品のドライバーがインストールされると、[デバイス マネージャー（デバイス マネージャ）]（※）に次のデバイスが追加されます。

| 追加場所 | 追加デバイス名 |
|---|---|
| ユニバーサル シリアル バス コントローラー<br>（ユニバーサル シリアル バス コントローラ）<br>（USB コントローラ） | USB 大容量記憶装置<br>（USB 大容量記憶装置デバイス） |
| ディスクドライブ | BUFFALO HDS-PXVU2 USB Device<br>BUFFALO Removable disk USB Device |

※［デバイス マネージャー（デバイス マネージャ）］は次の方法で表示できます。

Windows 7......................................［スタート］をクリック→［コンピューター］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイスマネージャー］をクリック

Windows Vista / Server 2008 R2 / Server 2008
............................［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→ [ 管理 ] をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら [ 続行 ] をクリック→ [ デバイスマネージャ ] をクリック（[ 診断 ] − [ デバイスマネージャ ] をクリック）

Windows XP / Server 2003 R2 / Server 2003
............................［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

# 2 使いかた

本製品の使いかたを説明します。

## ファイル操作

ファイル操作をするには、パスワード認証が必要です。認証後は、通常のハードディスクと同じようにファイルの移動、コピー、削除、フォーマットができます。

⚠注意
- **パスワード認証前はファイル操作できません。**
- **認証プログラム（password.exe）が収録されているドライブ（「MANAGE_DRV」）は、読み取り専用ドライブです。ファイル操作はできません。**

メモ　以下の操作を行うと、ユーザードライブは自動的にクローズし、ファイル操作できなくなります。改めて認証し直してください。

- **Windows の終了**
- **ログオフ**
- **ユーザー切り替え**
- **Windows の再起動**
- **ロック**
- **サスペンド / レジューム**

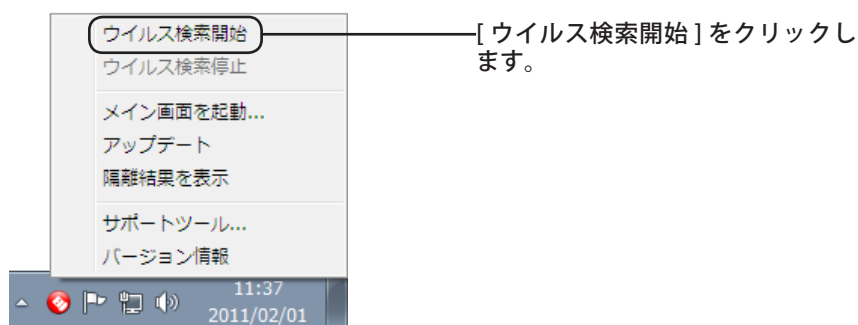
# ドライブ全体のウイルスチェック

本製品をウイルスチェックする場合は、以下の手順で行ってください。

※ 事前にインターネット接続可能なパソコンに本製品を接続して、最新のパターンファイルに更新してください（インターネット接続可能なパソコンに本製品を接続すれば自動的にパターンファイルが更新されます）。

※ 定期的にウイルスチェックを行うことをお勧めします。

**1** **本製品をパソコンに接続し、パスワード認証を行います。**

**2** **タスクトレイにあるアイコン をクリックし、[ ウイルス検索開始 ] をクリックします。**

以上でウイルスチェックが始まります。
以下のように「デバイス検索が完了しました」と表示されれば、本製品は安全な状態です。

ウイルスが検出された場合は、検出したウイルスの情報が表示されます。
画面の指示に従って対策を行ってください。

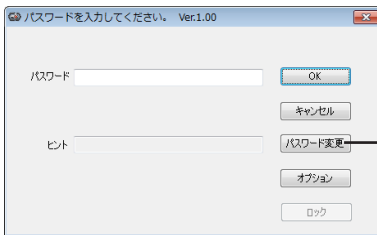
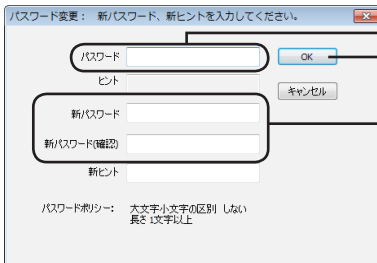
# パスワードの変更

パスワードを変更する場合は、以下の手順で行ってください。

**1　本製品をパソコンに接続します。**

**2　[ コンピュータ（マイ コンピュータ）] 内の [MANAGE_DRV] をダブルクリックします。**

**3　[Password.exe] をダブルクリックします。**

**4　以下の画面が表示されたら、[ パスワード変更 ] をクリックします。**

**5　新しいパスワードを設定します。**

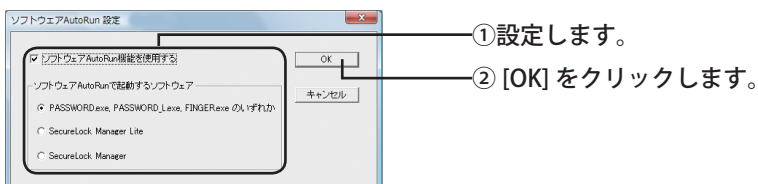
※ヒントを入力すると、パスワード認証画面で入力したヒントが表示されます。ヒントを表示させたい場合に、入力してください（ヒントを入力しなくてもパスワードを設定できます）。

以上でパスワードの変更は完了です。

# AutoRun 機能の設定

AutoRun 機能の設定をする場合は、以下の手順で行ってください。

**1　タスクトレイにあるアイコンを右クリックし、[ 設定 ] をクリックします。**

**2　以下の画面が起動したら、AutoRun 機能の設定を行い、[OK] をクリックします。**

| ソフトウェア AutoRun を使用する | AutoRun を使用するときにチェックをつけます。 |
| --- | --- |
| ソフトウェア AutoRun で起動するソフトウェア | AutoRun で起動するソフトウェアを選択します。<br>[PASSWORD.exe, PASSWORD_L.exe, FINGER.exe のいずれか ] を選択した場合は、認証画面が AutoRun 起動します。 |

以上で AutoRun 機能の設定は完了です。

**メモ**　AutoRun のメニューから［終了］を選択した場合、再度、常駐させるには、[ スタート］ー［すべてのプログラム］ー [ スタートアップ］内の「autopass」をクリックしてください。または、Windows を再起動してください。

# フォーマット(初期化)

## ご注意

● 本製品は出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています (1 パーティション )。フォーマットしなくても、そのままの状態でご使用いただけます。

● 本製品を OS 標準の方法でフォーマットした場合、市販のデータ復旧ソフトウェアでファイルが復旧できてしまう恐れがあります。よりセキュリティーを重視する場合は、次ページを参照し、本製品の完全初期化でフォーマットしてください。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。
ご注意ください。

● **フォーマットすると、本製品内にあるデータは失われます。**
本製品のフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
必要なデータは、事前にハードディスクや CD-R、DVD-R などにコピーしてください。

● **フォーマットする前に、認証してください。**
認証していないと、本製品をフォーマットできません。

● **認証用ドライブ(「MANAGE_DRV」)はフォーマットできません(読み込み専用です)。**

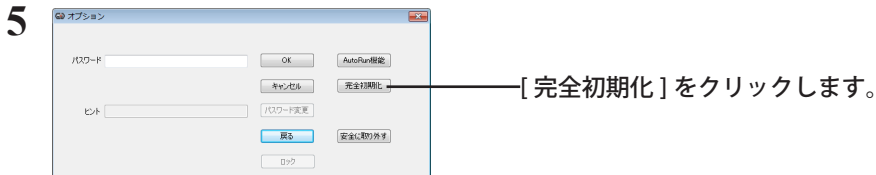
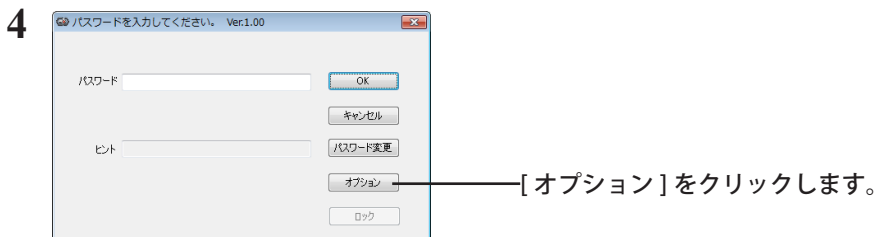
# 完全初期化（推奨）

通常はこの方法でフォーマットすることを推奨します。フォーマット後に、市販のデータ復旧ソフトウェアで復旧できません。

メモ　パスワードを忘れていても、管理者権限でのみ完全初期化は可能です。

**1　本製品をパソコンに接続します。**

**2　[ コンピュータ（マイ コンピュータ）] 内の [MANAGE_DRV] をダブルクリックします。**

**3　[Password.exe] をダブルクリックします。**

以降は画面の指示に従ってフォーマットしてください。

※ 完全初期化すると、本製品は FAT32 形式でフォーマットされます。本製品に 1 ファイルが 4GB 以上のファイルを保存される場合は、画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」を参照して NTFS 形式でフォーマットしてください。完全初期化後にそのまま使用した場合 (FAT32 形式のまま使用した場合 )、1 ファイルが 4GB 以上のファイルを保存できません（FAT32 形式の制限です）。

# 完全初期化ができない場合

画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」に記載の手順でフォーマットしてください。

# 3 付属ソフトウェアについて

付属のソフトウェアの概要とお問合せ先をご案内します。

**Windows Server 2008 R2 / Server 2008 / Server 2003 R2 /Server 2003 ではお使いになれませんのでご注意ください。**

## 付属ソフトウェアの概要

### eco マネージャー

本製品を休止状態（※）にして消費電力を抑えることができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すれば、アクセスしないハードディスクの消費電力を抑えることができます。

**※ eco マネージャーでの「休止状態」とは、このソフトウェアを使用してしてハードディスクの電源を OFF にしにした状態を指します。パソコン（Windows）の休止状態や、スタンバイ・ハイバネーション等の省電力状態とは異なります。休止状態では、パワー・アクセスランプは消灯しますが、コンピュータ ( マイコンピュータ ) にある本製品のアイコンは表示されたままです。**

**● 使いかた**

eco マネージャー for HD のマニュアルを参照してください。eco マネージャー for HD のマニュアルは、本製品に収録されています。マニュアル「はじめにお読みください」の「画面で見るマニュアルについて」の手順で表示させてください。

**● お問合せ先**

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問合せください。

### Disk Formatter

Disk Formatter は、ハードディスクなどのドライブ機器を簡単にフォーマットすることができるソフトウェアです。

**● できること**

- パソコンに増設したハードディスクのパーティション作成やフォーマットが簡単に行えます。MO、スマートメディア、コンパクトフラッシュなどリムーバブルメディアもフォーマットできます。
- 論理フォーマットだけでなく物理フォーマットも可能です。

**● 使いかた**

Disk Formatter のマニュアルを参照してください。Disk Formatter のマニュアルは、本製品に収録されています。マニュアル「はじめにお読みください」の「画面で見るマニュアルについて」の手順で表示させてください。

**● お問合せ先**

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問合せください。

# 付属ソフトウェアのインストール

付属ソフトウェアは、ドライブナビゲーター（本製品に収録されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックしたときに表示されるメニュー）からインストールできます。以下の手順でインストールしてください。

**1　本製品をパソコンに接続します。**

**2　コンピュータ（マイコンピュータ）にある「MANAGE_DRV」（　）をダブルクリックします。**

**3　「BUFFALO」フォルダーをダブルクリックします。**

**4　「DriveNavi.exe」（　）をダブルクリックします。**

ドライブナビゲーターが起動します。

・Windows 7 の場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[ はい ] をクリックしてください。

・Windows Vista の場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[ 続行 ] をクリックしてください。

**5　[ かんたんスタート ] をクリックします。**

**6　使用許諾契約の画面が表示されたら、[ 同意する ] をクリックします。**

**7　インストールするソフトウェアを選択し、[ インストールする ] をクリックします。**

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

# 4 仕様

## 仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

| | | |
|---|---|---|
| インターフェース | | USB |
| 準拠規格 | | USB Specification Rev. 2.0 |
| コネクター | | USB シリーズ Mini-B コネクター |
| 転送速度（理論値） | | 最大 480Mbps（※） |
| 出荷時フォーマット形式 | | FAT32(1 パーティション ) |
| 外形寸法 | | 134(D) × 90(H) × 20(W)mm（突起物含まず） |
| 消費電力 | | 2.5W（リード / ライト時） |
| 電源 | | 5V ± 5% |
| 動作環境 | 温度 | 0 ～ 45℃ |
| | 湿度 | 10 ～ 85%( 結露なきこと ) |
| 対応機種 | | USB コネクターを標準搭載する次のパソコン<br>・DOS/V 機（OADG 仕様）<br>弊社製 USB インターフェースを搭載した次のパソコン<br>・DOS/V 機 (OADG 仕様 ) |
| 対応 OS | | Windows 7 (64bit, 32bit) / Vista(64bit, 32bit) / XP /<br>Server 2008 R2 / Server 2008 / Server 2003 R2 / Server 2003 |

※ 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。